

ベ イ ビ ー 逃 げ る ん だ

三歳児は一人に一人は虫歯

六月四日から十日までは歯の衛生週間です。どうも虫歯はたいした病気ではないと思われがちですがそんなことはありません。風邪と同じ万病のもとなんです。一度かかると元には戻りません。お宅のお子さんの歯はだいじょうぶですか。

近年また増えつつあります

三歳児では二人に一人が虫歯—こんな結果が昨年一年間の三歳児検診でわかりました。五六・六%のり患率です。一歳六か月児では二・八%。県平均ではそれぞれ六六・六%と九・七%。黒崎町は比較すればよい方なのですが、これは十年ほど前から予防活動に重点をおきその成果が上がってきたからです。

虫歯は一生を左右します

虫歯はあなどれません。次のような悪影響を及ぼします。

- 発育への影響**
歯が全部揃っていないときのかむ力を100とすると、一本抜けたときは63、奥歯が数本抜けると43になる。
虫歯の痛みで食欲が減退し編食がちになる。
- 歯のみがき方**
歯みがきの習慣をつけることも大切です。上図をみて参考にしてください。
- きれいな歯は子へのプレゼント**
町では今年も虫歯から子どもたちを守るために次のような活動を行います。
- ①母親学級で妊婦の虫歯予防の意識を高める
- ②乳幼児検診で乳児～三歳児まで生活習慣記録を作り、適切な指導を行う。
- ③6か月児に虫歯予防のリーフレットを送る。
- ④歯ブラシの配布とみがき方の指導をする

町の検診で



(2)虫歯罹患率の地区別比較(58年) (虫歯のある子/受診者数)

1歳6か月児	地区	3歳児
($\frac{0}{21}$) 0	板井校区	57.1 ($\frac{14}{24}$)
($\frac{3.8}{15}$) 3.8	木場校区	55.6 ($\frac{14}{25}$)
($\frac{0}{17}$) 0	黒鳥校区	87.5 ($\frac{7}{8}$)
($\frac{1.5}{10}$) 1.5	山田校区	47.5 ($\frac{29}{61}$)
($\frac{5.8}{24}$) 5.8	立仏校区	56.7 ($\frac{17}{30}$)
($\frac{5.7}{25}$) 5.7	大野地区	53.1 ($\frac{17}{32}$)
($\frac{0}{21}$) 0	金巻興野	66.7 ($\frac{16}{24}$)
($\frac{0}{21}$) 0	鳥原地区	65.0 ($\frac{13}{20}$)
($\frac{1}{8}$) 12.5	小平方 鳥原新田地区	54.5 ($\frac{6}{11}$)
($\frac{1}{25}$) 2.8%	町全体	56.0% ($\frac{122}{218}$)

(3)1人当りの虫歯の本数(昭和58年)

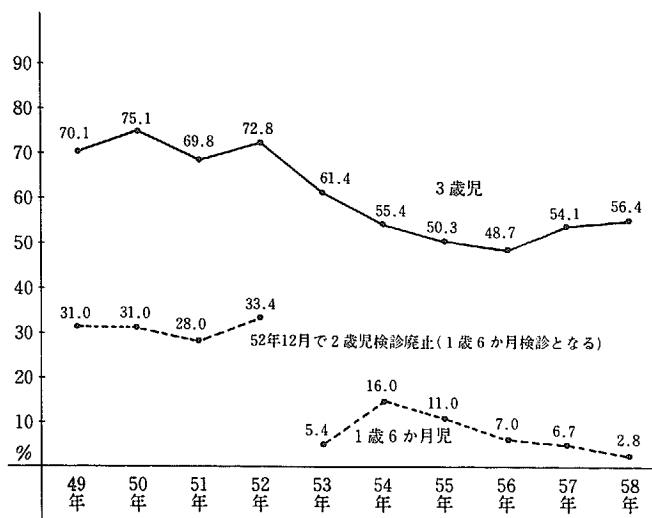
1歳6か月児	地区	3歳児
0	板井校区	5.8
4.0	木場校区	4.2
0	黒鳥校区	4.9
4.0	山田校区	3.5
1.5	立仏校区	4.7
1.5	大野地区	3.5
0	金巻興野	6.0
0	鳥原地区	4.8
2.3	小平方 鳥原新田地区	4.5
	町全体	4.5

総受診者数250人。虫歯のある子は7人で、合わせて16本の虫歯がありました。

総受診者数は218人で虫歯のある子が122人、あわせて547本の虫歯がありました。

黒崎町の状況

(1)幼児の虫歯り患率の推移



二歳
ママといっしょにみがく、歯みがき粉は使わなくてもよい。

8か月～1歳
ガーゼや脱脂綿でふいてやる。

三歳
ひとりでもみがくようになる。ママが点検する。

1年～2歳
朝晩2回、歯ブラシをできるようにしてやる。

- このようなことから、三歳ごろから発育に差が現れる。
 - 全身への影響**
虫歯のために微熱が続きリンパ線がはれ、全身病を引き起こすこともある。心臓、腎臓、骨に影響を与える。
 - 性格への影響**
ひどい虫歯があると—
●人前に出なくなる
●正しい発音ができない
●内向的な性格になる
 - 永久歯への影響**
●はえ変わりがうまくいかない
●八重歯や乳ぐい歯になる
●歯並びが悪くなり、顔形を損なうことがある。
 - やはり糖分のとりすぎに注意**
 - 虫歯の原因**
虫歯の原因はミュータンス連鎖菌が中心です。この菌は口の中にいつも存在し、砂糖を栄養に繁殖し、歯の表面は歯垢(ハクソ)を附着させます。歯垢中にできる酸が歯を侵食し、いわゆる虫歯になるわけです。
 - 虫歯の予防**
虫歯を防ぐためにはミュータンス菌をなくすればいいのですが、これは不可能です。菌を繁殖しにくくするしかありません。その方法は—
①砂糖分を多くとらない。
 - ②食べカスや糖分が残らないように、飲食後口をすすぎ、歯を清潔にする。
 - ③よい歯質を作る。このためにはバランスのとれた食事が大切です。
 - 歯のみがき方**
歯みがきの習慣をつけることも大切です。上図をみて参考にしてください。
 - きれいな歯は子へのプレゼント**
町では今年も虫歯から子どもたちを守るために次のような活動を行います。
 - ①母親学級で妊婦の虫歯予防の意識を高める
 - ②乳幼児検診で乳児～三歳児まで生活習慣記録を作り、適切な指導を行う。
 - ③6か月児に虫歯予防のリーフレットを送る。
 - ④歯ブラシの配布とみがき方の指導をする
- さらに、今年の重点地区として木場、板井、黒鳥で虫歯予防の力を入れていきます。とはいっても、やはり家庭が第一です。昭和四十七年のむし歯り患率は八〇%でした。それが五十六年には四九%まで低下しました。近年徐々に増加しつつありますが、予防の効果はあります。虫歯は子供の最大敵です。きれいな歯は子への最大のプレゼントです。